

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3891300109
法人名	有限会社 ケアサービス菜の花
事業所名	グループホーム 菜の花
所在地	四国中央市中之庄町60番1
自己評価作成日	平成26年1月31日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>明るく清潔な施設になっており、人の出入りも自由でいつも来訪しやすい雰囲気作りを心懸けています。家族さんやボランティア等来訪者も多く入所者も面会を楽しみに過ごされています。又、挨拶には非常に力を入れており、全職員の気持ちの良い挨拶を心がけています。又、一日の職員数の配置を多くしながら入所者一人一人との関わりが多く持てるよう対応を行っています。同敷地内にあるデイサービスとの交流も多くその人に合った楽しみが持てる施設となっています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者や職員が和めるように、色合いや雰囲気を大切にしており、小物やお花を各所に飾り、あたたかい雰囲気をつくっておられる。天窓からの光や照明も明る過ぎないよう配慮し、落ち着いた雰囲気となっている。調査訪問時には、事業所の玄関周りや室内には菜の花やさくら、チューリップ等のお花をたくさん飾っておられ、玄関を入ると春のにおいがしていた。又、清潔に気を付けており、職員は利用者の見守り等しながら、洗面所を拭いたり、モップをかけたりにされていた。</p> <p>職員は、利用者の名前を呼んでから言葉をかけて対応されており、利用者が他の方の名前や状態を知ることもつながっている。利用者はお互いに好み等をよくわかっておられ、お互いに励ましたり、労わるような場面もよくみられた。おやつのはじめ、手が汚れた利用者がティッシュで手を拭いていると、向かいの利用者がテーブル下のゴミ箱を近くまで寄せてあげていた。利用者の方は、そのティッシュをゴミ箱に捨て、目であいさつをされていた。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 菜の花

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

井川 美津子

評価完了日

26 年 1 月 31 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 会議や会話の中で、会社の理念に基づき判断、行動するよ うに話し合っている。 (外部評価) 「感謝する心 素直な心 向上心」という理念を額に入れて、 居間に掲げておられ、職員みなで意識して取り組みをすす めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 近隣スーパー利用時の交流や地域の学生との交流、ボラン ティアの来所、民生員さんやふれあい相談員との交流、デイ サービスとの交流を行い親交を深めている。 (外部評価) 事業所は、スーパーの近くに位置することもあり、近くにある 住宅の方達の認知度も高いようだ。事業所の周りには草花 や花木を整備して、地域の方達にも親しみを持ってもらえ るよう、雰囲気作りに取り組まれている。近くで理髪店を営む民 生委員の方は、運営推進会議に参加していただき、回数を重 ねることに関係が深まっており、現在は、男性利用者等が利 用されている。敬老会時には公民館へ記念品をもらいに 行ったり、小学校の運動会や地域の盆踊り大会を見に行け るよう支援されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 各家族さんへは、毎月の取り組み状況の報告や、入居者と 一緒に過ごす機会を設ける等し、認知症への理解を深めて いただいている。又地域の行事へのお誘いがあれば参加 し交流や理解を頂けるよう努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	<p>毎月の活動状況の報告を行い、援助についての意見や評価を頂き今後の援助サービスが向上できる様心懸けています。入所者全員との食事会やおやつの時間を利用したりと工夫しながら有意義な会議となる様努力している。</p>
			(外部評価)	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加して頂き意見を頂いたり又、市町村が主催する認知症研修にも参加し援助に結び着けている。</p>
			(外部評価)	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>日中はいつも玄関の施錠は常に行わず、夜間の防犯目的の施錠のみ行っている。身体拘束につながるケアは行っていない。</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	職員間で情報の共有を図り、身体的拘束は勿論、言葉による虐待にも十分に注意をしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	管理者及び職員は、成年後見制度や日常生活自立支援事業等、権利擁護に関する制度についての理解しており、必要な人にはそれらが利用できるよう支援している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	契約の際は、十分な時間を取って家族や利用者本人の不安や疑問点の解消に努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	面会に来られたご家族様や運営推進会議に参加されたご家族様から意見を伺っている。その他、利用者の誕生日会を開催しご家族様にも参加していただき、その際にも意見や要望を聞くなど行っている。	
			(外部評価)	利用者個々に担当職員を配置して、ご家族との関係をつくり、希望や要望を出してもらいやすいように取り組まれている。毎月送付する書類とともに写真を同封したり、職員が利用者の日頃の様子を手紙にして報告されている。ご家族の来訪は多く、近くに住むご家族は、交代で食事介助に来られている。又、遠方に住むご家族とはメールや電話で連絡を取り合い、暮らしへの要望を聞いたり、ケアを提案してコミュニケーションを図りながら、支援をすすめておられる。開設1年目に家族会を行い、その後は休止となっているが、管理者は、今後、ご家族が集い交流するような機会をつくりたいと話しておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的に行われる会議の際、職員の意見が聞けるよう全員に発言してもらうようにしている。又、日頃から報告連絡相談を徹底し、コミュニケーションを図るとともに話しやすい雰囲気作りを心がけている。	
			(外部評価) 月1回のミーティング時に話し合ったり、管理者やケアマネジャーは日々の中で職員から意見や提案を聞きながら、取り組みをすすめておられる。職員のチームワークがよく、休み明けには、他職員が休み中のエピソードを話す等して情報共有されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 給与水準や職場環境など他の事業所に劣らない様考えている。、休憩時間、勤務時間、休暇等も法定に沿った対応となっており、毎月希望休も自由に出せ職員の希望に沿った出勤対応にしており、特に問題は無いと思っています。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部の研修案内が届いた際は必ず回覧している。研修にかかる費用等は事業所が負担し参加しやすくしている。又、新人が入社した時は先輩から随時実践のアドバイスをうけられるよう勤務表を作成している。その他、勉強会において小規模な研修を行うなど職員の質の向上にも努めている。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 四国中央市グループホーム交流会に入会し他のグループホーム職員と交流し情報交換する事でサービスの質の向上を図っている。又管理者間で情報の交換を行う事もある。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 申込時に十分な時間を取り、生活歴や心身の状況、希望を聞くようにしている。不安なことはないか、入居後はどのような事を望まれているか、ゆっくり何うように気をつけている。又、他の入居者に紹介し早く打ち解けられるよう努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居するまでに、本人や家族さんとの人間関係作りに時間をかけ話し合いを行っている。又今まで困っていた事や今後希望する事を聴き、今後の支援につなげている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人さんの入所が必要かどうかを面談や情報を収集し、受け入れが困難な場合には他のグループホームや他の介護サービスに繋がるよう助言や事業所の紹介を行っている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入所者さんには常に人生の先輩であるという事を頭に入れながら関わる様にしている。本人さんから学ぶ事も多く、感謝と尊敬の気持ちを込めて「ありがとうございます」の言葉は必ず言うように徹底している。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様の来訪時や誕生会のおりには、日頃の様子や職員の思いについて伝えたり、逆に何か困った事は無いかを話し合っている。又、近況報告を月に一度ご家族様に送り、日頃の報告をしている。入居時には、ご家族様の協力が必要であり共に本人を支えていきたいと、伝えるようにしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご家族様に話しを聞きながら、親しい隣人や友人、知人などへの声かけをお願いしている。 (外部評価) 利用者が他利用者に「今日は顔色がいいね」と言葉をかけたり、職員を労ったりするような場面もよく見られ、利用者が「みんな家族だからね」と話してくださった。利用者のご自宅の近所の方が会いに来てくれたり、又、お孫さんが来られ、居室で一緒に泊まるようなこともある。入居前、隣接する系列デイサービスを利用していた方は、入居後もデイサービスに遊びに行く等して、一緒に外出したりレクリエーションを楽しんだりされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者の人間関係に注意しフロアーの席や居室の場所に配慮することでトラブルを防止している。入居者の状態を観察し、必要に応じて会話などに介入し穏やかに生活が送れるよう支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 亡くなられ場合でも自宅に訪問させていただき入所時の懐かしいお話をさせて頂いたり家族さんとの交流が継続される場合もあります。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎日の会話の中で、本人の希望を知るよう努めている。入居時やご家族様の来訪時にも話を伺うようにしている。、こんな物が食べたい、お知り合いの名前を呼ぶ、一度家に帰りたい等、普段の会話の中での言葉を職員間で情報交換し把握するよう常に努め、環境整備や物品購入、ご家族への電話等にて伝えながら一緒に支援の方法を考え実行している。 (外部評価) 他利用者のカップを見て、「私もあれくらいの大きさがほしい」と希望されたり、又、「私は野菜が嫌い。ケーキは好きよ」等、利用者は普段からご自分の気持ちや希望、要望をよく話される。職員は、利用者の言葉や反応等をよく観察しており、嗜好や性格をよく知っておられる。意思の表出が難しい利用者は、普段の言葉等に注目して思いを探るように努めておられる。習字の先生をされていた利用者の方には、掲示物のテーマを毛筆で書いてもらう等されており、他利用者が「あれはこの人が書いたのよ。きれいに書いとろ？」と話してくださった。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前に、ご本人のこれまでの暮らし方や生活歴を本人様及びご家族様からできる範囲で聴いている。入居後も伺いたい事があれば、本人様には直接、又ご家族様には来訪時や電話にて話を聞いている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 入居者の生活パターンをしっかりと観察し、不穏になる時や場所などを知るようにしている。又、どのような声かけをすれば落ち着くのかいろいろと試してみて、良い方法があれば、職員間で情報を共有している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎月の職員会議(ミーティング)で、各利用者さんへのケアの統一やケアの方法等について見直し検討を行っている。又入所者への担当を決め本人や家族との連絡や、希望に対応できる様実践し、責任感のある援助を心懸けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>月に1回職員で集まり、ケアについて話し合っってモニタリングを行い、3ヶ月ごとに評価を行い、介護計画の見直しにつなげておられる。ケアマネジャーは「この人らしさ」を出せる計画の作成に努めておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子を記録に残し、気づきがあれば職員間で報告、連絡、相談を行い情報を共有するように努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>通院や買い物等に職員が付き添ったり、隣のデイサービスへ参加させてもらうなどし、支援やサービスに努めている。ご家族様との外出、外泊等も柔軟に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>民生員、地域のボランティアセンター、地域の福祉学校の生徒、隣のデイサービスなどから来訪してもらったり、こちらから出向いたりするなどしている。地域のお祭りへの参加や、敬老会への参加、選挙投票など、ご本人様が希望される事は、できる限り叶えたいと考えている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の連携医療機関の他、ご家族の意向を聞き通院の介助を行っている。定期受診以外で、風邪などにより突発的に通院を要する時は、家族様に連絡を入れている。	
			(外部評価) 現在、受診は職員が付き添い、支援されている。隣接の系列デイサービスの看護師が週3回来てくれたり、相談等して利用者の健康管理をされている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 隣接した施設の看護師と連携をとっており、迅速に対応できるようになっている。又、看護師からの意見や指示を記入する連絡ノートがあり、職員は必ず閲覧するようにしている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時にご家族様や医療機関と情報を共有し、退院に向けて連絡を取り合っている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入居時にこちらの方針や対応可能な範囲について説明している。又、看護師にも協力を依頼している。	
			(外部評価) 事業所で看ることができなくなった場合、移行できるよう特養への申込をお願いされている。運営推進会議時に重度化について話し合った際には、ご家族は「できれば菜の花さんでお世話になりたい」と希望があり、又、利用者からは「特養はあまり気がすまません」という言葉も出された。この一年間では、事業所でできる限りの段階まで見たようなケースもあった。法人代表者は、自然死を望まれ、ご家族の協力があれば看ることもできると話しておられた。現在、重度化して、居室で過ごす時間の長い方もおられるが、調査訪問時の誕生会には、みなと一緒にケーキを食べて過ごされた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			まず管理者への連絡を行うよう徹底している。又緊急対応のマニュアルを作り対応している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			災害時のマニュアルを作っている。又、年2回の避難訓練を実施している。避難訓練の際は地域の方々にも参加して頂く様声かけしている。又隣接する施設(デイサービス)の援助も受けれる体制である。	
			(外部評価)	
			年に2回、消防署の協力を得て避難訓練を実施されている。夜間を想定した訓練を行ったり、通報や消火訓練等も繰り返し行っておられる。民生委員の方にも見学していただき、いざという時には駆けつけてくれることになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			月1回の職員の研修会にて、プライバシー保護についての研修も行い徹底するよう努めている。	
			(外部評価)	
			職員は、利用者の名前を呼んでから言葉をかけて対応されており、利用者が他の方の名前や状態を知ることにもつながっている。利用者はお互いに好み等をよくわかっておられ、お互いに励ましたり、労わるような場面もよくみられた。おやつのはきはきには、手が汚れた利用者がティッシュで手を拭いていると、向かいの利用者がテーブル下のゴミ箱を近くまで寄せてあげていた。利用者の方は、そのティッシュをゴミ箱に捨て、目であいさつをされていた。お誕生日にご家族からもらった胡蝶蘭を利用者ご本人が「みなが見て楽しめた方がいいから」と、共用空間に置くことをすすめてくださり、職員はお礼を言って利用者と相談しながら、居室前の廊下に置くことを決めておられた。職員が利用者と馴れ合いにならないよう、担当を替える等して対応されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			個人の希望や思いに耳を傾け、したい事・したくない事を主張してもらい、自己決定を優先している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 参加したくない行事には無理強要する事はなく、又どうした ら参加していただけるか等皆で考え対応している。又、外出 などを希望された場合も家族さんと連絡しながら時間を見つ け行けるよう努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) その日の服装など出来る限り自分で決めて頂き希望があ れば一緒に服を選んだりしている。又、訪問散髪を利用して おり、ご本人が希望されればサービスを受けています。その 他、ご家族が美容室に連れて行かれたり、近所の美容院へ 行ったりされる方もいます。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの力を活かし、食事の準備や後片付けを 一緒に行っている。今では自分の役割と張り切って家事をさ れるようになった方もおられる。職員は利用者と一緒に食 事を一緒にとり、楽しく食事ができるよう努めている。	
			(外部評価) 朝食と昼・夕食のご飯とお汁を事業所で作っておられ、お かずは隣接する系列デイサービスの厨房から届くようになって いる。プレートのお皿におかずを盛り付け、彩りよく、調理 に工夫した食事が提供されている。ミキサー食は、大きめ の器に入れ、職員が介助されたり、スプーンを使ってご自 分で食べている方もおられた。デザートは、イチゴは、丸 まま・へた無の丸まま、4口くらいにスライスしたもの、小 さく切ったもの等、それぞれの状態に合わせておられた。 職員も一緒に食卓を囲み、利用者の介助をしながら同じ食 事をされていた。食後には、エプロンを着けて皆の食器を 洗う方や、台拭きする利用者の様子もみられた。月に1回 は、お弁当を外注して趣向を替え、食事を楽しまれてい る。現在、夕食は、職員の配置の都合で5時からとな っており、食事の時間は居間に掲示されていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分の摂取量をチェックし脱水にならないよう心 掛けている。午前・午後お茶やコーヒータイムによる水分 補給もやっている。食事は各人に合わせた摂取しやすい形 態など工夫している。又、体調管理の中で大切な情報の 一つとして、摂取量の把握を行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを実施している。義歯装着者は週2回 義歯洗浄剤を使用し清潔の保持に努めている。又、口腔 ケア用品も週1回ハイター除菌を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄表や本人の様子を観察しながらトイレ誘導や声かけを行っている。オムツの方や尿意の無い方は時間を決め定期的にオムツ交換と陰部洗浄、蒸しタオルによる拭き取りを行っている。	
			(外部評価) 排泄状況を記録してパターンの把握に取り組み、誘導や声かけしてトイレで排泄できるよう支援されている。車いすのポケットには排泄用品を入れ、布等でカバーしておられた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 医師とも相談しながら、食べ物や飲み物などで便通が良くなるよう努めている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 日曜日以外は、毎日午前午後ともに入浴できる体制をとっている。ご本人さんの意向も聞きながら対応しているが、受診等による付添いもあり、職員の都合に合わせて頂いていることもある。	
			(外部評価) 事業所のお風呂は一般家庭のような浴槽で、現在は週に2～3回入浴できるよう支援されている。重度の利用者の中には、入浴がお好きでご家族からの希望があり、訪問入浴を利用している方がいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は体操などに参加していただき活動量を増やすことにより安眠できるよう努めている。不眠時の傾聴や、希望があれば冬場などは湯たんぽを使用するなどして支援している。不安が生じない様見守りながら声かけを行っている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人のファイルに薬の成分表を綴り、服薬介助方法・注意点も職員会議で共有している。又、一人ひとり手渡しや介助にて服薬し、確実に服薬で来たか確認を行っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家事のお手伝いやレクリエーションなど個々の好きな事を行っていただいている。レクリエーションは毎日、外食や社会見学などの外出行事も気候や入居者様の体調を見ながら行っている。又、近所への買い物同行等の外出も行い気分転換が図れるよう努めている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) スーパーへの買い物や、外食へ行く等、その他にもいろいろなお出かけ先へ外出している。外泊がしたい、お祭りへ行きたい等の希望を叶える為、ご家族様と協力し希望を叶えられるよう努めている。	
			(外部評価) コスモスを見に行ったり、お花見に出かけたりされている。事業所では、「元気な方はできるだけ元気に過ごしてもらいたい」と、自立度の高い利用者は、隣接の系列デイサービスに出かけて交流したり、職員と一緒に食材の買い出しに行けるように支援されている。	重度の利用者が増え、今後は個別の外出支援に取り組んでいきたいと考えておられる。近所つきあい等をよくしていた利用者もおられ、よくお話に出てくる名前や地名等の情報を集めて、利用者が以前どのような方達とつながりを持って暮らしていたか探り、外出支援につなげてみてはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) トラブルを避けるため、現金はこちらでお預かりさせていただきますが、好きな時に使えるように支援しています。出納帳の記入と購入した物の領収書などはご家族にも定期的にお見せしています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎月の近況報告と共に、入居者さまが書かれたお手紙を同封したりしております。電話は家族と相談し、可能な限り対応してもらっています。家族さんの了解の下、本人さんが希望すれば電話にてお話できる様対応しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関周りには、季節が感じられるようにと季節の花を植えるよう心懸けています。施設内はバリアフリーで全体に手すりの設置も行っています。施設内や玄関の掃除は毎日行っている。トイレはいつでも行けるよう三カ所設置し『トイレ』とわかりやすい様、張り紙をしてある。各居室の担当者がおり、入居者の希望を聴くとともに環境整備に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者や職員が和めるように、色合いや雰囲気大切にしており、小物やお花を各所に飾り、あたたかい雰囲気をつくっておられる。天窓からの光や照明も明る過ぎないよう配慮し、落ち着いた雰囲気となっている。調査訪問時には、事業所の玄関周りや室内には菜の花やさくら、チューリップ等のお花をたくさん飾っておられ、玄関を入ると春のにおいがしていた。又、清潔に気を付けており、職員は利用者の見守り等しながら、洗面所を拭いたり、モップをかけたりされていた。午前・午後と時代劇番組が放送される時間には、ソファーに座ってみなで楽しんでおられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>テーブルやソファーを置き、利用者同士で交流したり、一人でゆったり過ごすなどくつろげるようにしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入所時には馴染みの家具などの持ち込みをお願いしているが、使い慣れた家具を使用したり本人が居心地の良いレイアウトするなど思い通りの部屋作りができている方もいれば、全て家族様の選んだ物だけの部屋もある。本人様が居心地の良い空間となるよう、引き続き工夫しなければならない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ぬいぐるみをたくさん飾っていたり、雑誌やテレビもあり、床にホットカーペットを敷いて座布団を置いている方もいる。息子さんの名前を大きく書いて貼っていたり、ご家族と撮った写真を飾っておられた。居室で雑誌を読む方もいる。ご家族からの絵手紙を大事に飾っておられる方もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>手すり付きのバリアフリーの福祉住宅で安全に設計されており、トイレや居室などに目印をつけ場所が分かるようにしている。</p>	